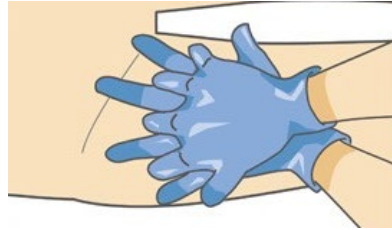
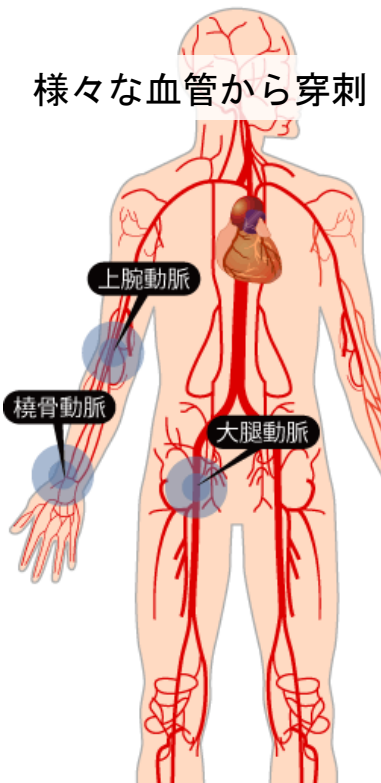


圧迫止血アタッチメント及びそれを用いた 超音波止血モニタリング

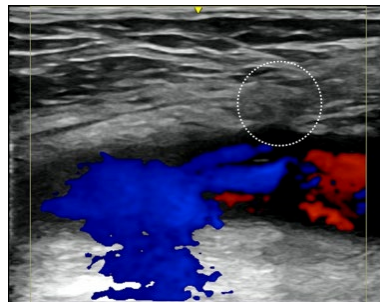
血管内治療は低侵襲のはずだが、
穿刺部合併症(出血)は克服すべき課題である

血管内治療(循環器内科・脳神経外科・放射線科)を
施行する全ての医師のストレス軽減のために簡便かつ
効果的な道具を開発したい

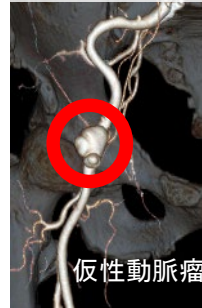
様々な血管から穿刺



止血機器は存在するものの
用手圧迫止血がやはり重要



止血困難例



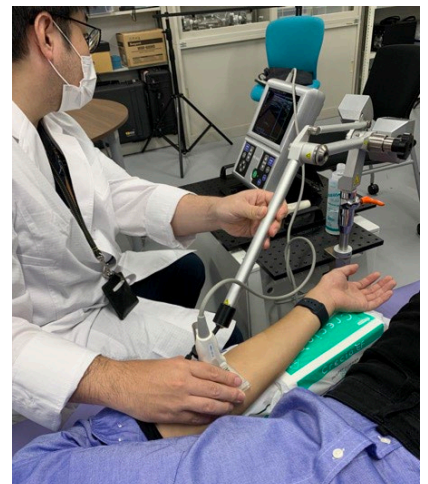
仮性動脈瘤



血管閉塞



後腹膜血腫



エコーにて止血を確認、血管の血流をモニタリング



アームによる固定、
アタッチメントにより止血中、
術者は手を離すことが可能であり、
負担軽減

お問合せ先

国立大学法人 浜松医科大学
産学連携・知財活用推進センター

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
TEL : 053-435-2230・2681 FAX : 053-435-2433
e-mail : amanoy@hama-med.ac.jp itos@hama-med.ac.jp

